



区民のくらし第一に

— アンケートの声生かし、区政を転換 —



生活が苦しくなったが74%

増税、物価高、税・保険料などがくらしを圧迫

私たち日本共産党区議団は、区民アンケートに取り組み、これまで1500通を超える返信がありました。「くらしが良くなった」という回答は、わずか2%であるのに対し、「苦しくな

る原因を尋ねると、「支出の増」が多くを占めており、何の支出が増大したかという回答には、公共料金、健康保険・介護保険



4月初旬で約1,500通が返信されています

区民の要求と結び転換・実現

くらし支援の条例と 予算組み替えを提案

今定例会の特徴は、区議団が繰り返し要求してきたことが多く実現したことです。

区役所建て替えの基金を増強するため、学校の建て替えのための基金を減らすという財政操作を4年間行っていました。今年度はそれをやめ、補正予算で復元しました。

また、区主催の産業見本市が開催され、プレミアム商品券も発行されることになりました。災害時の危険を避けるための器具取り付け助成、学校給食の値上中止、新小岩駅快速線のホームドア設置の設計なども実現されました。これらは、切実な区民の声を届けてきた党議員団の論戦の大きな成果といえます。



10%なんて払えない」「なんでも値上なのに収入はへるばかりで追いつかない。」

何とかしてほしい」などの切実な声も多数寄せられています。



消費税による増収、29億円 区役所建て替えに15億円積増し

2015年度の区予算は、消費税増税によって増えた消費増税は福祉のためだと政府は説明してきましたが、現実には国保料、介護保険料などの値上に加え、制度改悪があいついでいます。

それなのに、区が消費税増税の増収の半分にあたる

る15億円を区役所建て替えのための基金に積み増したことは重大であり、認めることはできません。



また、区主催の産業見本市が開催され、プレミアム商品券も発行されることになりました。災害時の危険を避けるための器具取り付け助成、学校給食の値上中止、新小岩駅快速線のホームドア設置の設計なども実現されました。これらは、切実な区民の声を届けてきた党議員団の論戦の大きな成果といえます。

レッドカードだ!

東金町運動場特定団体を特別扱い

区は3月19日、「FCバルセロナ」の名前を使っている少年サッカースクール開講のために、東金町にある多目的運動場とクラブハウスを優先利用させることを、主催団体との記者会見で発表しました。

さらに、多目的広場は現在天然芝ですが、区は週5回の利用ができるようにするために、二年間かけ、そ

れも1億6千万円もかけて人工芝に変更するとしています。

一定団体がビジネスとして使用するために、区民や他の団体の利用が制限されるということになれば、公共施設としての公平さを欠くこととなります。「スポーツ振興」に名を借りて、区がこんな不正を行ってよいのでしようか。



発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111(内2821)
責任者 中村しんご

日本共産党
葛飾区議団だより

日本共産党区議団のホームページをごらんください
<http://www.jcp-katsushika.jp/>



小規模企業振興基本法 学習会が開かれる



堀切地区センターでの学習会に多数が参加

3月8日、堀切地区センターで小規模企業振興基本法についての学習会が開催され、駒澤大学・吉田敬一教授が講演をしました。

吉田教授は、中小企業・小規模企業が減少しているのは、宿命ではなく、ドイツやイタリアでは、逆に増大している事実を示し、ものづくりやサービスに付加価値をつけていく必要性を強調しました。点の支援からネットワークへの支援に転換することなど、行政に対する働き替のポイントを問題提起しました。

日本共産党区議団は、今定例会の予算審議で、葛飾区の子育て支援計画の策定、地域防災計画関連、街づくりの地域の調査など、事業の重要な分野で本来、区がやるべき業務にコンサルタントを使っていることを明らかにし、区政のあり方として問題にしました。

その総額は、2014年度だけで、45業務、4億9千万円にのぼります。本来、区がやるべき事業をコンサルタント会社に発注すれば、不要な予算を増大させる可能性があり、基礎自治体としての、自主性、専門性が薄れます。また、官製談合など、利権、汚職の温床になる恐れもあります。

学童保育計画が破たん 定員を大きく超える申し込みで二次募集

現在区は、「子育て支援施設の整備方針」にもとづき、区立学童保育クラブをすべて廃止する計画を実行中です。

区は当初、廃止を予定している「中道」「東堀切」「東奥戸」「新水元」の4つの区立学童保育クラブでは、昨年度1年生の受け入れをせず、今年度は2年生も募集しないことにしていました。さらに、青戸中央学童保育クラブについても廃止するため、今年度から1年生の募集をしませんでした。

区は2次募集で、廃止予定の学童保育クラブでも1・2年生の募集を再開せざるを得なくなりまし。その上、児童館併設の学童の受け入れをさらに増やしたため、一〇三人というマンモス学童も出現し、児童の安全面でも、情緒の面でも問題が拡大しました。

保健センター運営費は 建替えの方が税金の節約に

区は19日、区議会地方分権・行革特別委員会、高砂・小菅両保健センターを廃止することで、運営費が約560万円削減できるという報告をしました。

ところが、廃止することによって地区センターでの乳幼児健診、区民事務所での医療費申請業務をしなければならぬために、それに要する費用が2300万円かかることが明らかになりました。

仮に10年間続ければ、2億3000万円の費用が必要となり、続けられ続けるほど財政負担は大きくなっていきます。むしろ保健センターを建て替えて、健診や申請

をしながら、区がかかげた整備方針は破たんしたという状況となった今、廃止計画は撤回し、増設をきちんと行うべきです。そして「すし詰め」、大規模学童の解消こそ行なうべきです。

青木区政の「公共施設の総量抑制」という方針が、施設廃止先にあるきになっているために、こういう矛盾ができていくのです。

保健センター廃止反対は区民の圧倒的多数の声です。引き続き、身近な所に保健センターの設置を求めて奮闘してまいります。

自治体の姿が問われる コンサルタント会社の多用

国の緊急対策をうけ、区が「プレミアム商品券」を発行することになりました。総額5億7千万円でプレミアム率は20%、500円券24枚で1セット、一人5セットまで買うことができます。16枚は、大型店を除く地元のお店のみで、8枚はすべての取扱店で使用



生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で生活法律相談を行っています。震災についても相談下さい。(事前に連絡をお願いします。)

 中村しんじ 区議 第三水曜日 090(8686)2671	 三小田准一 区議 第二水曜日 090(8040)1181	 中江秀夫 区議 第四水曜日 090(2176)5756	 おりかさ明実 区議 第三金曜日 090(3524)6719	 天野ゆうや 区議 第一水曜日 080(5462)1100	 和泉なおみ 第二水曜日 03(3697)2101 <small>都議会議員 社会保険労務士</small>
--	--	---	---	--	---